

四條畷市総合教育会議（令和2年度第3回）

会議録

四 條 畷 市

1 令和3年2月17日 午前9時30分 四條畷市委員会室において、四條畷市総合教育会議を開催する。

2 出席者

| | | |
|----------|---|-------|
| 市 | 長 | 東 修平 |
| 教 育 | 長 | 植田 篤司 |
| 教育長職務代理者 | | 山本博資 |
| 教 育 委 員 | | 竹内千佳夫 |
| 教 育 委 員 | | 佃 千春 |
| 教 育 委 員 | | 河田 文 |

3 事務局出席者

| | |
|---------------|-------|
| 総 合 政 策 部 長 | 藤岡靖幸 |
| 兼魅力創造室長 | |
| 教 育 部 長 | 上井大介 |
| 教 育 部 次 長 | 賀藤久道 |
| 教 育 部 次 長 | 阪本武郎 |
| 兼青少年育成課長 | |
| 教 育 部 次 長 | 木村 実 |
| 兼学校教育課長 | |
| 兼教育センター長 | |
| 教 育 総 務 課 長 | 板谷ひと美 |
| 教育総務課施設整備担当課長 | 勝村隆彦 |
| 秘 書 政 策 課 長 | 木下順代 |
| 秘書政策課事務職員 | 安田直由 |

4 会議録作成者

| | |
|-----------|------|
| 秘書政策課事務職員 | 安田直由 |
|-----------|------|

5 案件

- (1) 学校再編に係る経過報告について
- (2) その他

| | |
|---------------------------|--|
| <p>総合政策部長兼 魅力創造室長</p> | <p>それでは定刻になりましたので、令和2年度第3回四條畷市総合教育会議を開催させていただきます。本日は全員のご出席をいただいております。</p> <p>本日は、学校再編に係る経過報告につきまして、市長と教育委員会で報告や意見交換を行うためお集まりいただきました。本日も円滑な会議の進行にご協力をお願い申し上げます。</p> <p>なお、会議録作成のため録音させていただきますので、お手元にごございますマイクをお使いいただき、ご発言をいただきますようお願いいたします。それでは初めに市長から挨拶を申し上げます。</p> |
| <p>市長</p> | <p>皆様おはようございます。本日も大変お忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>本日から河田委員にも新たに加わっていただき議論ができるということになりまして、後ほどご挨拶をいただければと思います。ぜひ、保護者の視点から、たくさんのご意見をいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>さて、教育委員会の皆様をはじめ、事務局の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症に対応する形で、昼夜を問わずきめ細かにご対応いただいております。まずそのことに対しまして、心から敬意を表しますとともに、市民を代表してお礼を申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の直接の対応のみならず、いわゆる教育の環境においても、劇的に変化してきているという状況にある中、8月までの総合教育会議では、教育大綱に関する議論をさせていただきました。</p> <p>「個性をみんなで活かすまち」という非常に平易な言葉で理念を掲げ、「子どもの“やってみよう”を伸ばす教育」という子どもにも伝わる文章で、新しいGIGAスクール等を踏まえた教育環境において、一定の方向性を定めたと認識しております。</p> <p>コロナ対応等でもお忙しいと思いますが、引き続きこの教育大綱をご参酌いただき、教育振興基本計画に取りかかれる際には、ぜひリーダーシップを発揮していただき、取組みを前に進めていただけたらと思います。</p> <p>本日はそれらとは異なり、これまで本市にとって最重要事項の一つであります学校再編についての報告を、教育委員会からいただくと聞いております。限られた時間ではありますが、ぜひとも実りある議論となりますようお願いを申し上げまして、私からの冒頭の挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> |

| | |
|---------------------------------------|---|
| <p>総合政策部長兼 魅力創造室長</p> | <p>ありがとうございました。続きまして、令和2年10月に新たに就任されました河田委員から一言ご挨拶をいただきたいと思えます。よろしくお願いいたします。</p> |
| <p>河田委員</p> | <p>おはようございます。10月より教育委員を務めております河田と申します。この間、定例会、勉強会に参加させていただきまして、教育に関する事柄というのが非常に多岐にわたるということを知り、これからしっかり勉強していく必要があるなど実感しているところです。</p> <p>まだまだわからないことも多くありますが、私自身、現在小学生の子どもを持つ保護者ですので、教育委員としてはもちろん、保護者としての立場で、市のめざす教育に対する取組みに、少しでもお役に立てるように、しっかり務めたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p> |
| <p>総合政策部長兼 魅力創造室長</p> | <p>河田委員ありがとうございました。それでは、以降の会議の進行につきまして市長よろしくお願いいたします。</p> |
| <p>市長</p> | <p>それでは早速ですが、お手元の次第に従いまして進めてまいりたいと思えます。</p> <p>まず、学校再編に係る経過につきまして、担当からご説明のほどよろしくお願いいたします。</p> |
| <p>教育部次長兼学校 教育課長兼教育セ ンター長</p> | <p>はい。私からは四條畷小学校における令和2年度からの学校生活についてのアンケート調査について報告させていただきます。</p> <p>配布資料の「四條畷小学校における学校生活に関するアンケート2回め結果」と書かれた資料をご覧ください。</p> <p>令和2年度から四條畷市立四條畷東小学校が廃校となりました。それに伴い、四條畷小学校は新たな校区となり、1年が経過しようとしております。そこで学校再編にかかり、再度、保護者皆様の思いや考えを伺い、これまでの取組みの検証や、今後の学校再編、四條畷小学校のあり方を検討するための資料として、7月に続き2回めのアンケートを実施させていただきました。</p> <p>実施期間といたしましては、令和3年1月29日から2月10日、対象者は四條畷小学校の保護者全員とし、児童一人につき1アンケートをお願いいたしました。</p> <p>回答数につきましては471人で、回答率は71%となっております。</p> |

| | |
|-----------------------------|--|
| <p>教育部次長兼学校教育課長兼教育センター長</p> | <p>結果の概要をお伝えいたします。新しい友達が増えた、授業が楽しい、学校行事が活発、たくさんの友達と交流、学校施設が快適の質問項目で、肯定的評価が向上しております。</p> <p>また、学校に望むこととして、多い順に、新型コロナウイルス感染症対策、安心・安全な校舎、通学路の安全という結果になっております。</p> <p>次に裏面をご覧ください。旧四條畷東小学校の保護者を対象としたアンケート結果となります。</p> <p>まず、通学路の安全対策につきましては、どの項目をとっても肯定的な評価が向上しております。ただし、この項目に関しましては、1回めの全体値が210、2回めの全体値が157であることを申し添えておきます。</p> <p>続いて、転籍に係る不安につきまして、学校になじめている、授業や通学、友達関係や学校の決まり、こちらはどの項目を見ても不安を感じていなかった、または、感じていたが解消できたと答えた割合が、7月の調査の時よりも向上しております。こちらの全体値につきましては、1回めが178人、2回めが155人となっております。</p> <p>最後に、自由記述につきましては記載のとおりのご意見がございました。</p> <p>この結果から、コロナ禍により、児童も保護者も教職員も不安なスタートではありましたが、学校長の「新しい学校を創る」といった方針が浸透し、結果的にスムーズな統合が図られているものととらえております。</p> <p>しかし、まだ不安を感じておられる方がいらっしゃることから、これら不安に寄り添い、少しでも不安を解消できるよう学校と歩調を合わせ、今後とも取組みを進めてまいります。私から以上です。</p> |
| <p>市長</p> | <p>ありがとうございました。ただいまの説明に対して、委員から何か補足、あるいは追加でご意見等ございますでしょうか。</p> |
| <p>山本教育長職務代理人</p> | <p>私はアンケートにつきまして、ちょっと注視していました項目は、旧四條畷東小学校の校区の子どもさんが学校になじめて、なおかつ、通学ルートが変わりましたので、通学に対する不安がないかなというところを特に注視していました。後ろの表になるんですけど、学校になじめているということに対して不安を持っている子どもさんが、現在まで16名おられる。それから、通学に対しては、36名ですか。まだ不安を持っているという形でおられますけれども、全</p> |

| | |
|------------|---|
| 山本教育長職務代理者 | <p>体としては、不安なく学校生活の中にとけこめているのではないかなと思っています。</p> <p>ただ、今言いました不安を持っておられるという子どもにつきましては、何が不安であるのかいうことを、これから分析して、統合した結果の不安であれば、それが解消される方向で考えていくべきだと思っています。</p> |
| 市長 | <p>ありがとうございます。まさに最後にお示しいただいたとおり、統合等がない場合の学校についてアンケートをとっても、おそらく100%が学校になじめているという回答になるわけではなく、絶えず一定数はこういった回答もあろうかと思えます。そのうえで、やはり統合が元になっての不安等であれば、学校再編を進めてきたという状況から、我々も不安の声をすくい取って対応していく必要がある、確かにその通りかと思えます。</p> <p>その他、委員のほうから何か補足等あればお願いします。佃委員。</p> |
| 佃委員 | <p>失礼いたします。今年度はコロナ禍でありますので、これは保護者アンケートですので、ほとんどの保護者は学校に行ったことがないといえますか、学校の中で子どもたちの様子をじかに見る機会に恵まれず、ほぼ、子ども達からのお話や、様子を見てのアンケート結果だと思います。</p> <p>それにもかかわらず、新しい友達が増えたとか、授業が楽しいということで良い結果が出ているということは、おそらく順調にこの1年は過ごしておられるかと。</p> <p>逆に、学校の先生方も、すごく一生懸命その不安を取り除くことに努力されているという様子が伺えました。</p> <p>やはり小学校ですので、安心してすごせる学級であるということ、それから、わかる授業をしていただけるというこの2点に、先生方も注力していただいて、来年度以降も頑張っていたきたいなと思う次第です。以上です。</p> |
| 市長 | <p>ありがとうございます。竹内委員。</p> |
| 竹内委員 | <p>はい。私からは1点、子ども達の順応性っていうのかな、順応性は高くてですね、慣れるのは比較的早いかなとは思っていて、アンケート結果から、順調にきているなというのを感じるわけなのですが、私がちょっと一つ危惧するのは、やはり子ども達に比べて保護者という、大人のほうは、どちらかというと、こだわりがあった</p> |

| | |
|----------------------|---|
| 竹内委員 | <p>り、いろいろなケースがあるわけなのですが、特にPTA関係のほうですね、会則の問題であるとか、委員選出とか、いろんな行事とか、そういうPTAの関係がスムーズにいつているかどうかということが、若干心配なのですけど、そのあたりのところを教えてくださいいただければと思います。</p> |
| 教育部次長兼学校教育課長兼教育センター長 | <p>ご指摘ありがとうございます。PTAの関係につきましては、統合前年度より、四條畷東小学校、四條畷小学校のPTA役員方々が、月に1度ずつ集まっていたいただき、そこで、会則も含めて、協議してまいりました。</p> <p>あわせて、次年度のPTAの規約につきましても、前年度にほぼ決めていたということ、また、学級委員さんの割り当てについても、前年度のうちに四條畷東小学校から何人、四條畷小学校から何人ということで、スムーズにPTAも移行できるように、PTA同士でも協議をして、この統合を迎えたという次第でございます。</p> |
| 市長 | <p>ありがとうございます。その他、委員から何かございましたらお願いいたします。教育長。</p> |
| 教育長 | <p>もう一つ、教職員について、先般、校長先生からお聞きしたところ、統合前から教職員の融合にもだいぶ腐心をされたとのこと。この1年、「前の学校では・・・」ということを想起させない、教職員の児童生徒に対する接し方というのを非常に徹底されたということを知りました。そういった意味でも、冒頭事務局からありましたように、「新しい学校を創る」と、そういったコンセプトが各ステークホルダーに浸透してきた、アンケート結果にはそれが表れていると感じた次第です。以上です。</p> |
| 市長 | <p>ありがとうございます。もし、その他、ご意見が無ければ私から。各委員からおっしゃっていただきましたとおり、統計的な数値で見ますと、アンケートとしておおむね良い傾向を示しています。佃委員もおっしゃられましたように、コロナ禍という環境での値と考えると、傾向としては非常に良いものかと思えます。</p> <p>しかし私が言うまでもなく、「まだ不安である」、安全面の質問で、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」という子どもたちがいる以上、その子どもたちにも対応策を検討しながら、よりよい四條畷小学校に向けて進めていただければと思います。</p> <p>表面の「学校に望むこと」を見ますと、やはり安心・安全な校舎、</p> |

| | |
|---------------------------------------|---|
| <p>市長</p> | <p>防犯対策、通学路の安全、コロナ対策、これらはいずれにしても予算も含めて必要になってくることですから、教育委員会のほうでも、これらの声をくみ取っていただいて、どうしていけばいいのかという案も、ぜひ取りまとめていただければと思います。</p> <p>それではもし、他にご意見がなければ担当からの説明を求めたいと思います。</p> |
| <p>教育部次長兼学校 教育課長兼教育セ ンター長</p> | <p>はい。続きまして学校再編にかかる通学路の安全対策について報告させていただきます。</p> <p>令和2年度からの四條畷小学校と四條畷東小学校の統合を見据え、令和元年度に保護者の皆様からのご意見やご要望を伺い、想定される通学路の危険箇所に対し、人的配置、カーブミラーの設置、横断歩道の新設、路面表示、防犯カメラや防犯灯の設置について、予算化していただき、設置を行ってまいりました。</p> <p>しかし、統合後、再編当時に想定できていなかった通学路上の問題などが散見し、保護者、地域、学校からの声を受け、通学の変更や安全誘導員の配置場所の変更などを行ってまいりました。</p> <p>また、学校再編があった四條畷小学校、進学先が四條畷西中学校となった四條畷南小学校、中野本町全体が校区となった岡部小学校、この3校より現状から改めて必要な安全対策を伺ったところ、それぞれ学校より3台ずつ、合計9台の防犯カメラ設置のご要望がございました。これを受け、令和3年度予算に、必要な予算を担当課において予算計上していただいている状況でございます。</p> <p>今後も引き続き、児童生徒が安心・安全に登校できるよう取組みを進めてまいりたいと思っております。以上です。</p> |
| <p>市長</p> | <p>ありがとうございます。これにつきましても委員の方から何か補足、追加があれば、お願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。</p> <p>職務代理をお願いします。</p> |
| <p>山本教育長職務代 理者</p> | <p>先ほどのアンケートにありましたように、学校に望むことということで、安心・安全な校舎であるとか、あるいは通学路の安全ということが、非常に大きな希望というか期待になっているかというふうに思います。</p> <p>それで、保護者、あるいは子どもにとって、通学路が安全であるというのは、目に見えるものがやっぱりないと、安全というのはなかなか認識ができないかなと考えています。そういう意味では、裏のアンケートにありましたように、交通安全誘導員に見守られている</p> |

| | |
|------------|---|
| 山本教育長職務代理者 | <p>とか、防犯カメラが整備されているということが、非常に安全・安心感を与えるために必要だというふうに思います。</p> <p>そういう点からいえば、ぜひ各3校から要望されている防犯カメラについては、設置をお願いしたいと考えております。</p> |
| 市長 | <p>ありがとうございます。お示しのとおり、学校再編を一步一步と進めていく中、このような安全対策につきましては、教育委員会と市長部局との協議の上、基本的にはすべて前向きに進めていくという思いで、進めてきたかと思っております。今後もその思いで進めていけたらと思っております。</p> <p>その他、委員からあればお願いいたします。竹内委員。</p> |
| 竹内委員 | <p>子ども達が、安心・安全な登下校ということを考えたときに、一番安心感を与えるなと思うのは、やはり交通指導員さんといいたししょうか、ボランティアによる見守りというような形で、例えば、交差点や横断歩道等があるところに、人がいるのといないのとでは、安心感が全然違うかなと思うので、もちろん予算的なこととか、いろいろなことがあるかと思えますけれども、人的配置が可能な限り、地域の方々をお願いするとか、自治会を通してなど、いろいろな方法があるかと思えますけれども、そういう意味で、人的配置を可能な限りしていただければ、子どもたちにとっては、より、安心・安全な登下校ができるんじゃないかなと思いますので、そちらもあわせてお願いできればと思います。</p> |
| 市長 | <p>ありがとうございます。教育委員会と、学校あるいは保護者の皆様との協議の中で、やはり必要だと思われることに対しましては、積極的に意見をくみ取っていただいて、さらに何が必要かということをご提案いただければと思います。ありがとうございます。</p> <p>その他いかがでしょうか。河田委員。</p> |
| 河田委員 | <p>先ほどのアンケートの中に、「学校に望むこと」ということで、その中にも通学路の安全ということが含まれています。このアンケートの回答も、子どもが実際に回答しているわけではなくて、保護者が回答している内容だと思えますので、こういう防犯カメラの設置であるとか、こういうことを今していますということ、学校とか、また教育委員会から、保護者にきちんと一つずつ説明していくことが、こういう回答も良い結果を生む方向にいくのかなと思うので、そういう取組みもしていただければと思っております。</p> |

| | |
|---------------|--|
| <p>市長</p> | <p>ありがとうございます。おっしゃるとおりだと思います。再編を進めていく中でもそうだったのですが、やはり我々としても情報発信、周知をしていると思っていても、実際には情報が届くまでに至っていないということがあります。</p> <p>我々としても、想定している以上に情報を発信していくことが必要になってくるかと思っておりますので、このあたりは事務局含めて、改めて検討をお願いいたします。</p> <p>その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは事務局から説明をお願いいたします。</p> |
| <p>教育総務課長</p> | <p>はい。続きまして、平成30年度から実施の四條畷市立四條畷南中学校の休校に伴う通学費補助金について、制度の終期を定めるべく、これまでの経過について説明させていただきたいと思っております。</p> <p>本補助金は、平成30年3月末に休校となった四條畷南中学校区において転籍先となる四條畷中学校までの通学の遠距離化に対応するため、当時の四條畷中学校区において最も遠い地域よりもさらに遠距離となる地域を対象に、1ヶ月あたりのバス定期代9,000円に対し8,500円を、電車定期代1,610円に対し、1,510円を保護者に交付するものでございます。</p> <p>なお、2人め以降の兄弟姉妹及び生活保護または就学援助の対象世帯には全額を補助している状況です。</p> <p>これらにつきまして、令和2年度末をもって南中学校の休校から3年、3年度末をもって廃校から3年を迎えることから、制度の検証時期を迎えております。</p> <p>この間の変化といたしましては、このたびの学校再編整備によって、令和2年度から、南小学校の校区が西中学校に変更になり、休校時に遠方と位置付けられました、南野一丁目の一部、楠公一丁目、楠公二丁目、米崎町及び中野新町の通学距離が短縮され、西部地域の通学距離に一定の均衡が図られたということがございます。</p> <p>また、廃校後3年となる令和3年度末をもちまして、廃校時の新中学一年生がご卒業を迎えられます。これらのことから、本制度については、令和3年度末をもって十分とは言えませんが、通学の遠距離化に対する一時的措置としての役割を果たすとの認識に立ち、今後1年間の周知期間をとり、制度の終了を考えております。</p> <p>加えまして、生徒一人ひとりの事情に鑑み、補助の有無にかかわらず南中学校区の生徒すべてがバス・電車を利用可能としていた取扱いにつきましても、通学距離の短縮が図られたということ、また、通学も学校教育の一環であるということに加え、市域を俯瞰いたし</p> |

| | |
|-------------------|---|
| <p>教育総務課長</p> | <p>まして、等しく学びを提供すると言う観点に立ちまして終了を考えております。</p> <p>ただし、障がいやけが等に対しましては、従来通り状況に応じ、四條畷中学校と連携のもと個別対応を行うとともに、通学への不安を解消すべく、通学路の安全対策にも引き続き取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>最後に、ご参考として利用実績の推移といたしましては、平成30年度は、対象者160人に対し、最大が78人。令和元年度は143に対し、最大が55人。2年度は113人に対し、1月時点で最大27人がご利用されております。なお、令和2年度、27人の内訳といたしましては、1年生が2人、2年生が4人、3年生が21人という状況でございます。以上でございます。</p> |
| <p>市長</p> | <p>ありがとうございました。本件につきましては、再編事業を議論、あるいは進めていく中で、この場でもそうですし、保護者の方々であったり、アンケート等であったり、様々な議論を経て現在の制度に至っていると思います。</p> <p>その中で、遠距離化、いま通っている距離より遠くなったということに対する対応として、本制度を導入していったと記憶しております。先ほど事務局からもご説明がありましたとおり、地域によっては四條畷西中学校への通学になっていること等々も踏まえ、終期を令和3年度に定めていく方向ではどうかという説明だったかと思えます。</p> <p>これは制度導入時から永続的に継続するものではなく、市域全体を俯瞰した時に、より遠いところから通っている児童がいるという状況も鑑みて、終期を設ける方がいいのではないかというご意見もあったことから、終期を設定することは妥当かと私としても思っているところです。</p> <p>時期につきましても廃校後3年ですので、廃校時にいた生徒は卒業しているという状況を鑑みて、設定しうる年数の一つかと思えます。</p> <p>もし、この件に関しまして、委員等から何か補足、追加でのご説明等あれば、ご発言いただければと思いますがいかがでしょうか。</p> |
| <p>山本教育長職務代理人</p> | <p>いま市長が言われたように、私も四條畷南中学校からの通学費の補助については、ある一定の経過措置だというふうに当初から認識しています。</p> <p>四條畷南中学校の生徒が四條畷中学校に行くことにいろんな不安</p> |

| | |
|------------|---|
| 山本教育長職務代理者 | <p>があったというふうに思います。例えば制服の問題一つにしてもそうでしたし、教科書の問題もそうですし、不安を解消する方法の一つがこの通学費の補助であったように認識をしておりますので、いま実際に当時の在校生がいなくなるという状況の中では、ある一定の役割を果たしたのかなと思いますので、私も現時点で廃止はやむなしというよりも、すべきではないかなと思っています。</p> <p>というのは、アンケートの中にもありますように、やっぱり生徒は友人関係を作るというのは、勉強はもちろんあるんですけども、生徒たちの関係ではやっぱり友人関係を作るというのは、すごく大きなことかなと思います。自分自身の経験からも、学校へ行く時に、友達と話をしながら行くということは、学校に自分が向いていくという意味では大きな力になったのかなと思いますので、そういうふうに友人関係を構築していくという意味でも、周辺の子も達と一緒に登校することは必要かなと思っています。そういう観点から、廃止をすべきだというふうに考えております。</p> |
| 市長 | <p>ありがとうございます。そのほか委員からあれば。佃委員お願いします。</p> |
| 佃委員 | <p>失礼します。本当に廃校というものにはとてつもない痛みを伴い、そこには住民、そして保護者、そして生徒という、この中でもいろいろなことがあって決断されて、こういう補助を設置されたといいますか、取り入れられたというのは、いろいろお聞きすると本当に大変な決断だったと思うのですが、そのいろいろな不安や思いを見事にやはり生徒が解決していくというか、それが利用者の推移とかにも表れていて、いま職務代理がおっしゃったように、部活動を終えて今日のことを話し合いながらの帰り道、気がついたらもう家の近くだったみたいなこともあるでしょうし、また自分の塾の時間を考えるとバスでは合わない、というライフスタイルということもあるでしょうし、いろいろなことの結果、本当は使いたいけれども使わなくても何とかなるよ、ということを利用者数の結果が教えてくれているような気がします。</p> <p>如何せん、廃校後3年という区切りでという決断は、私も尊重すべきだと思いますけれども、先ほどの安全対策とも関わるのですが、やはり、これがなくなったから終わりということではなくて、四條畷市の四條畷中学校だけではなくて、いろんな中学校に通う子ども、小学校に通う子ども、みんなの安全について、市民をあげて見守っていきましようというような気運というものを、いろいろな形で広</p> |

| | |
|----------------------|---|
| <p>佃委員</p> | <p>報するというのも絶対大事な事だと思いますので、両輪でやっていくべきではないかなと思いました。以上です。</p> |
| <p>市長</p> | <p>ありがとうございます。本当におっしゃるとおりかと思います。安全対策というものは、時代に応じて様々変わってくるものだと思いますし、引き続き児童、生徒、保護者の皆様が安心していただける環境に取り組む続けるということは、おっしゃるとおりかと思います。ありがとうございます。</p> <p>その他ご意見あればお願いいたします。</p> |
| <p>教育長</p> | <p>この件につきましては、さらに校区を変更して適正化を図るという、そういったプロセスも相まって、ここで一定役割を明確にするということがいいかと感じております。この後、教育委員会で、具体的な手続き等につきましては進めさせていただきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> |
| <p>市長</p> | <p>ありがとうございます。私としても、意見は冒頭に申し述べたとおり、経過議論の過程を踏まえた場合には、この補助制度については、その使命を果たす時期にきたと認識しておりますので、ぜひ、教育委員会定例会の中でもご議論いただければと思います。</p> <p>他にご意見なければ、こちらについても終わろうかと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p> |
| <p>市長</p> | <p>それでは1点めの学校再編に係る経過報告について、その他ご意見がなければ次第の2その他、に移らせていただきます。</p> <p>その他について事務局から何かございますでしょうか。お願いします。</p> |
| <p>教育総務課施設整備担当課長</p> | <p>はい。小学校の消防防火設備の修繕費の繰り越しにつきましてご報告させていただきます。</p> <p>令和2年3月、昨年3月ですね、総合教育会議におきまして、四條畷市学校施設修繕計画の策定につきましてご説明させていただきました。その中で早急な対応が求められる消防防火設備の修繕を優先的に取り組むべく、令和2年度に実施予定でしたが、令和2年度は忍ヶ丘小学校の大規模改造工事、全小中学校屋内運動場の空調設備の整備工事、加えて、校舎の空調設備の実設計、および小中学校</p> |

| | |
|----------------------|---|
| <p>教育総務課施設整備担当課長</p> | <p>の校内ネットワークの整備が予定されておりました。それらを優先的に行う必要があったため、消防防火設備の契約に係る事務は下半期からの開始を予定しておりました。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症の影響から、当初、令和3年度から3年計画で整備を予定しておりましたG I G A端末整備につきましても、国の方針により令和2年度中に全小中学校への前倒し整備が必要となり、また、令和3年度に行う予定の校舎空調設備整備工事前倒しに加え、新型コロナウイルス感染症対策のための様々な事務が発生したことにより、契約事務の開始が遅れ、入札の執行が12月中旬となってしまいました。</p> <p>さらにその入札においても不調となってしまったことから、入札参加業者への聞き取り等を行い、改めて設計を組み直し、また工期についても年度内の完了が見込まれたことから、再度、入札実施に向けて進めておりました。</p> <p>しかしながら、その後、緊急事態宣言が発令されたことに伴い、材料物品等の納期が遅れる可能性が出てきたことから、今年度内での実施が難しくなり、繰越明許費補正を行うに至りました。</p> <p>今回、令和3年度への繰越に至りましたが、消防防火設備は子どもたちの安心・安全に関わる部分ですので、2月定例議会におきましてご議決いただきましたら、速やかに事務を進め、これらの修繕を行っていきたいと考えております。以上です。</p> |
| <p>市長</p> | <p>冒頭の挨拶でも申し述べましたとおり、劇的に教育委員会の中で環境の変化が起こり、かつ日々における感染症対応が続く中、教育委員会ははじめ、事務局の皆さんは最善の対応をいただいていると思いますので、子どもたちの安心・安全のために引き続き最善の対応に尽くしていただければと思います。</p> <p>これについては特段ご意見ございませんでしょうか、よろしいでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p> |
| <p>市長</p> | <p>はい、その他ございましたらお願いいたします。</p> <p>事務局からは特にないでしょうか。</p> <p>委員の皆様からも、特段、その他全体通じてご意見があればと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p> |

| | |
|----|--|
| 市長 | <p>いずれにしましても、児童生徒が1人1台のパソコンを持つという未来が起るとは、少し前までは考えられなかったことです。隔世の感がありまして、教職員の先生方筆頭に、大変戸惑いを覚えておられるのではないかと思います。</p> <p>ぜひとも教育委員会の皆様で、その先生方の不安や悩みを取り除いていくような形でご議論いただき、リーダーシップを発揮していただければと改めてお願い申し上げまして、この令和2年度の第3回総合教育会議については閉会とさせていただきます。</p> <p>本日もありがとうございました。</p> |
|----|--|